



小宮遊亀「春の紅梅」

再興第82回 院展

1998 3月11日(水)~3月22日(日)

開館時間 / 午前9時~午後5時(展示室への入室は午後4時30分まで)
初日は午前10時より開展
毎週金曜日は午後7時まで(展示室への入室は午後6時30分まで)
月曜日は休館

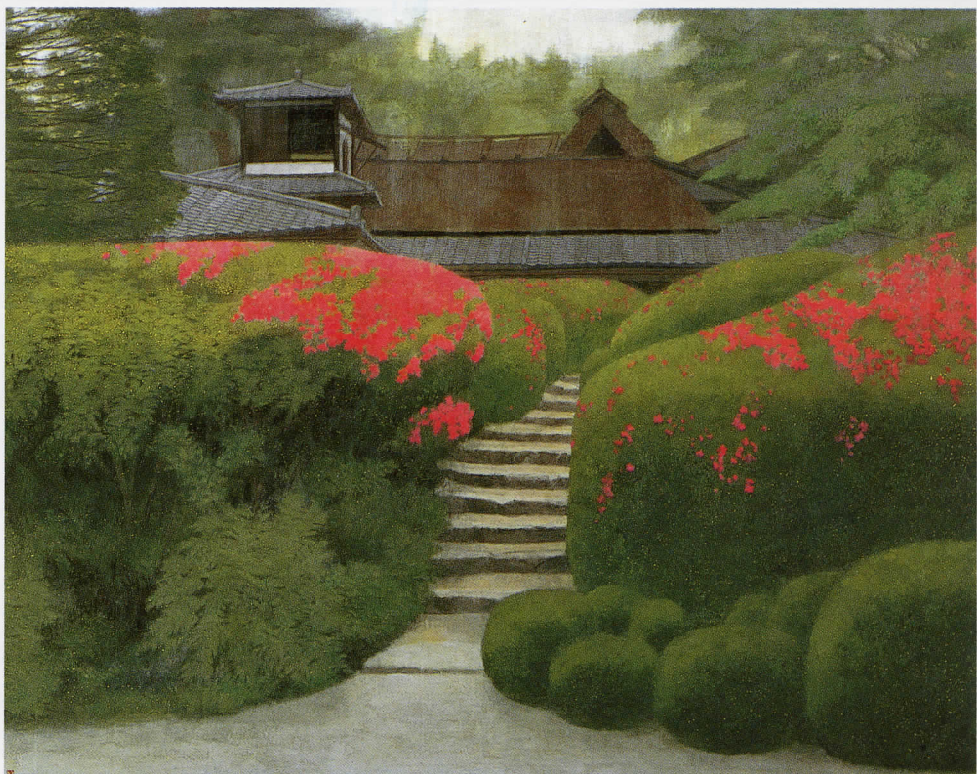
主 催 / 高松市美術館・(財)日本美術院・四国新聞社・西日本放送

高松市美術館 Takamatsu City Museum of Art
高松市紺屋町10-4 TEL.087-823-1711

入場料 / 一般700円(560円) 高大生400円(320円) 小中生200円(160円)
・高松市に住所を有する長寿手帳・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料
・第2土曜日は小・中・高生無料
・()内の料金は前売入場料、また、20名様以上の団体割引価格



岩壁富士夫 「小莉さん」



鎌倉秀雄 「さつき咲く詩仙堂」

院展

再興第82回

日本美術院は、近代日本画の指導者として知られる岡倉天心が中心となって、明治31年(1898)に創立された日本画の美術研究団体です。東洋美術の伝統を維持しながら、新時代にふさわしい美術を開拓するといった意欲的な活動は、当時の日本画壇に新鮮な息吹を与えました。その後、一時中断しますが、天心の死を機に横山大観、下村観山、安田靉彦らが、大正3年に再興して以来、現在も日本画壇の中心的な役割を担っています。

今年で第82回を数える院展では、名誉理事長の小倉遊亀が紅梅、白梅の2点を出品し、102歳の高齢とは思えない瑞々しい作品が話題となっています。また、面構シリーズで独自の画業を展開している片岡球子や、シルクロードの画家として知られる平山郁夫、山岳風景を得意とする福王寺法林をはじめとする、現代日本画を代表する同人たちが力作を発表し、来秋創立百年を迎える日本美術院の意気込みを示しています。高松展では、同人作品33点と本年度受賞作品、香川県出身作家の入選作品を含む71点を展覧いたします。



片岡 球子 「面構(雪山)」



小山 硬 「からくり人形師玉屋庄兵衛」

【本年度受賞者】

- | | |
|-------------|----------|
| 内閣総理大臣賞 | 山中雪人(同人) |
| 文部大臣賞 | 手塚雄二(同人) |
| 日本美術院賞(大観賞) | 西田俊英 |
| 日本美術院賞(大観賞) | 村上裕二 |

ギャラリートーク

当館学芸員が展示作品の解説をいたします。

3月15日(日) 午後2時より 2階展示室にて



セーヌ(モレ・シエル・ロワン) 下田義寛